

## 青梅からワールドカップへ

特集 国際審判員 荒木友輔さん



FIFAワールドカップ2026の審判員に、青梅市出身の荒木友輔さんが選出されました。

国際審判員として目指してきたワールドカップの舞台を前に、お話しを伺いました。詳細は2面～3面をご覧ください。

FIFAワールドカップ2026は6月11日～7月19日に開催されます。

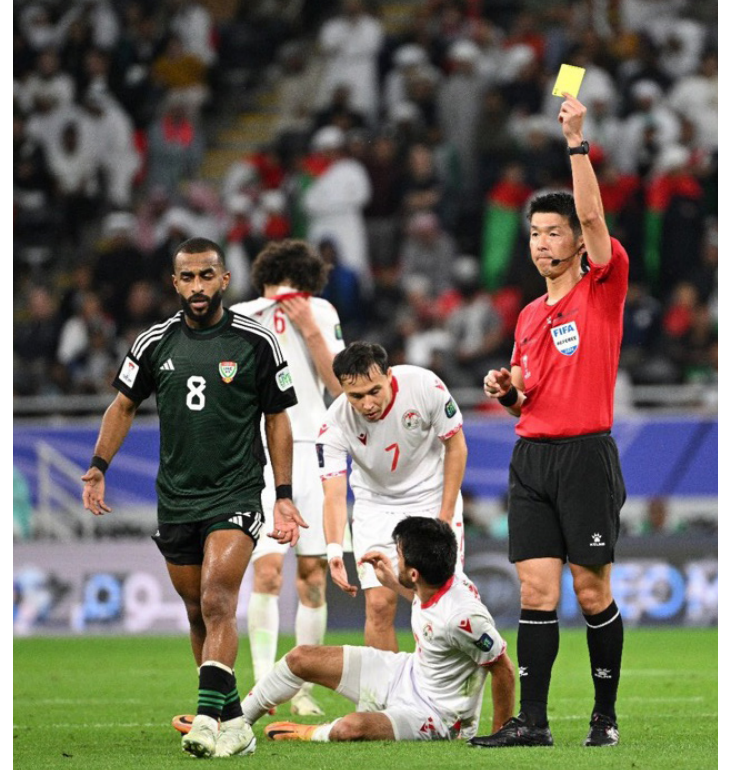
(写真提供：荒木友輔さん)

### 今号の主な記事

- ◆土砂災害防止月間・浸水強化月間…4面
- ◆家具転倒防止器具等支給取付事業…5面
- ◆夏休みごみ処分場見学会…6面
- ◆乳がん・子宮頸がん検診…7面
- ◆おうめ生活サポーター養成研修…8面
- ◆子ども体験塾「クリエイターへの扉を開こう」…9面
- ◆相談日 ほか…10面
- ◆なんでも情報局アンテナ…11面
- ◆産業観光まつり出店者募集…12面

## 特集 FIFAワールドカップ2026審判員に選出 荒木友輔さん

6月11日～7月19日に開催されるFIFAワールドカップ2026の審判員に、青梅市出身の荒木友輔さんが選出されました。国際審判員としての道のりや、FIFAワールドカップ2026の審判員に選出されたときのこと、今後の目標についてのお話を伺いました。



写真提供：荒木友輔さん

### 「運命のじゃんけん」と顧問の先生との出会いが、審判員を目指すきっかけに

—サッカーや審判員と出会ったきっかけや興味を持ち始めたきっかけを教えてください。

Jリーグの開幕がサッカーに興味を持つきっかけになりました。審判員との最初の関わりは、中学校の顧問の先生、高校進学後の「運命のじゃんけん(※)」と1級審判員の資格を持つ顧問の先生との出会いでした。

※運命のじゃんけん

高校生の頃、サッカー部でサッカーの審判員を2人選出しないといけなくなり、そのじゃんけんで負けたことが審判員となる大きなきっかけになったとのこと。それを機に、高校1年生のときに4級審判員を取得。その後、都サッカー協会の事業で強化審判員コースの研修会に参加。高校3年生のときに3級審判員、大学4年生のときに2級審判員、レフェリーカレッジでの2年間の研修を経て25歳で1級審判員に。

—選手ではなく審判員の道を選んだ理由・転機を教えてください。

中学3年生のときは都の選抜に入っていて、高校進学後も選手としてやっていくつもりでしたが、その選抜の際にスライディングタックルを受け、半年間サッカーができなくなってしまいました。そのことをきっかけに選手としてではなく、審判員の道も考えるようになりました。

その後、2級審判員になった年に、全日本少年サッカー大会(現・JFA全日本U-12サッカー選手権大会)の決勝の主審を務めました。そのときに、「審判員としてトップを目指したい」という気持ちが芽生えました。

### 信頼されないと任せられない大事な試合を担当でき、忘れられない試合に

—ジャッジした中で印象深い試合はありますか？

Jリーグで選手が引退する試合を担当するのはとても緊張感があります。2020年に鹿島スタジアムで行われた内田篤人選手の引退試合で主審を務めました。前半に内田選手へイエローカードを出したのですが、2枚目が出るとその時点で退場となるため、より丁寧に対応しなければならないという気持ちで臨みました。

また、ワールドカップ5次予選のイラク対UAE戦が印象に残っています。勝った方がワールドカップのプレーオフに進めるという大事な試合でした。4次予選ですでに主審を務めたこともあり、自分に声がかかるとは思っていませんでしたが、英文のメールで5次予選の審判員を務める旨の連絡がありました。

ミスをしたら一発でキャリアを失うような大事な試合であるものの、本当に信頼されている人でないと任せられない試合です。そんな試合を担当することができ、忘れられない試合の1つになりました。

—VAR判定(※)のメリットとデメリットについて教えてください。

審判員にとってはメリットしかないです。見返せる状況と見返せないまま過ごす90分は全然違います。ただし、サッカーとしてはVAR判定により一度ストップしてしまうというのは本来のサッカーとは、かけ離れたものになってしまいます。判定に時間がかかるという意味ではデメリットになりうるのではないのでしょうか。

ただ全体を見ると誤審を防ぐ意味でも見返すことができるというのはポジティブな側面が多いです。

※VAR(ビデオ・アシスタント・レフェリー)判定

試合映像を確認しながら主審の判定をサポートする審判補助システム。VARはすべてのプレーに介入するわけではなく、ゴールや退場など重要な場面で、映像を使って判定を確認する。



### プロフィール

1993年～1999年 吉野FC(五小)

1999年～2002年 西中サッカー部

2002年～2005年 都立北多摩高校  
サッカー部

2011年 1級審判員を取得

2016年 J1の主審を担当

2017年 国際主審に登録

2018年 プロフェッショナルレフェリーとして活動開始

2023年 FIFA U-20ワールドカップ  
審判員に選出

2025年 Jリーグ最優秀主審賞受賞

2026年 FIFAワールドカップ2026  
審判員に選出



### ワールドカップの審判員に選出されるという目標が人生の中で一番困難な目標でした

—いつからワールドカップの審判員を意識し始めましたか？

1級審判員の上に国際審判員という資格があります。国際審判員とは、日本を代表して海外の国際試合を担当します。国際審判員にとっては、1番の大きな目標はワールドカップになり、誰しも目指すところではあります。国際審判員になってからワールドカップの審判員に選出されるまでが一番大変でした。国際審判員になるとアジアサッカー連盟で活動しますが、各国に7人（それ以下の場合もあり）いて、その中からワールドカップの8人に入らないといけないのが非常に難しく、人生の中で一番困難な目標でした。

3年前に今回のワールドカップの候補者が発表され、一番最初の候補者16人は3年間の研修を行い、最終的に8人が選ばれる仕組みです。この3年間は毎試合点数がつけられ、その結果、8人の中に選ばれました。

—ワールドカップの審判員として選ばれた瞬間、どのような気持ちでしたか？

嬉しさより安堵の方が大きかったです。というのは、アジアの中でワールドカップの審判員を輩出しているのは日本が一番多いんです。1998年から毎回日本人の審判員がワールドカップに参加していて、自分で途切れたらまずいというプレッシャーが常にありました。

### 青梅の自然豊かな環境で育つことで、夢を叶える力が養われる

—今も青梅市で生活されていますが、地元を拠点にしている理由・魅力を教えてください。

国際試合は選手からのプレッシャーも大きく、心のエネルギーも消耗するため、身体的にも精神的にも疲労感は大きくなります。青梅に戻って川に行ったり、山の中へ入ったり静かな環境に行くことがリフレッシュになります。オン・オフをしっかりとできる環境があるからこそ頑張れます。

—子どもたちに向けて、夢の持ち方・追いかけ方についてメッセージをお願いします。

青梅市は自然豊かで外で遊ぶところもたくさんあります。今は、ゲームなどいろいろな遊びの選択肢がありますが、外で友達とたくさん遊び、自然豊かな中で育っていくことが、大人になった時に夢を叶える力を養ってくれるのではないかと思います。

—一次の目標・夢を教えてください。

目標は明確で、次のワールドカップも審判員として行くということです。実際に、ワールドカップの審判員は2回行くことが多く、1回目は初めてなので探りながらやっていくことも多いと思います。2回目は決勝を担当させてもらえるくらいのパフォーマンスを出したいというのが今の目標です。

もちろん今回の大会も全力で頑張りますが、次の大会も見据えてやっていくという気持ちで臨みたいと思います。



Jリーグ最優秀主審賞受賞後の表敬訪問で



## 審判員になるには

出典：JFA（日本サッカー協会）ホームページ

### 4級

サッカーの競技について理解しながら、競技規則（ルール）と審判法を学ぶことで4級審判員の資格を取得することができます。  
審判員としてのスタートとなる4級審判員の資格は、都道府県サッカー協会が開催している講習会で資格認定を受けることができます。

### 3級

4級審判員として審判活動に携わり実績を積むことで認定審査を受けることができます。  
都道府県サッカー協会によって異なりますが、認定審査の項目は、競技規則テスト、体力テスト（インターバル走など）です。  
※都道府県サッカー協会によっては実技審査があります。

### 2級

2級審判員の資格認定を受けるには、3級審判員として都道府県サッカー協会で審判活動に携わり、都道府県サッカー協会からの推薦を受けて認定審査を受けることになります。  
※審査項目は地域により異なります。

### 1級

1級審判員になるためには、1級認定審査に合格する必要があります。所属する地域サッカー協会から推薦され、1年間の活動が評価されることになります。  
審査項目  
・競技規則テスト  
・試合評価（年間を通じて日本サッカー協会が指定する試合を担当し評価を受ける）  
・体力テスト

### 国際

国際審判員は、毎年、各国サッカー協会から推薦された候補者のうちFIFAによって承認された審判員が国際審判員として登録されます。  
日本サッカー協会は、国内の最も高いレベルのリーグ（Jリーグ、WEリーグ、Fリーグ）や競技会を担当する1級審判員、女子1級審判員そしてフットサル1級審判員の中から、レフェリング能力、年齢、語学力そして審判活動環境などを総合的に判断した上で、候補者を決定しています。

### 試合翌日のスケジュール

- 9:00 英会話
- 10:00 トレーニング
- 13:00 昼食
- 14:00 試合分析  
試合の振り返り。レポート提出
- 19:00 夕食
- 20:00 オンラインミーティング  
試合で起こった判定についてのディスカッションなど

## YouTubeで配信中！



荒木友輔さんのインタビュー動画を2次元コードからご覧いただけます。

